



ふるさと納税協力事業者

## 吉田漁網

### 吉田漁網の投網は魚の天敵

保田で投網などのフィッシング用品を企画・製造・販売されています。愛好家からの支持だけでなく、初心者へのアドバイスも積極的に行われ、投網の普及にも力を入れています。

※店舗型ではないので来店前には事前にご連絡を。

川西町保田248番地 ☎0745(44)0158

URL : <http://www.amitasu.jp/>

#### 投網は気軽に始められる レジャースポーツ

——保田では『針屋』と呼ばれるようなところが、

吉田さん 元々は釣り針や縫い針の扱いを生業としていたそうなのですが、60年くらい前から、釣り具のつながりで投網の製造・販売を始めて現在に至っています。そういうこともあって、針を扱わなくなっても、保田では『針屋』で通っています。

——それだけ地域に密着しているということですね。今は『投網』の網を中心に商品展開されておられますが、漁業など業務用のものなのでしようか？

吉田さん 投網は漁法の一つですが、釣りなどと同じで、河川で楽しむレジャースポーツといえます。釣りは魚がかかるのを待って、かかった魚を釣り上げます。一方『投網』は魚がいるところに投網を投げ入れて魚を捕まえるものです。釣りとは違った魅力があります。

——一瞬の勝負ですね。

吉田さん 投げる(打つ)まで魚の動きを予測したり、川底の地形を読んだりして地

点を探します。一度にたくさん魚を獲れたときの爽快感は『投網』でしか得られないものです。「地点探し」と「投げる」を繰り返すので、仲間と行っても現地では単独行動が多いです。

——アクティブなレジャースポーツですね。実際に投網を持つてみると、意外とずつしりしています。網なのでもっと軽いものだと思います。

吉田さん ある程度の重さがないと早く沈まないもので、錘(おもり)がついています。錘の効果で、網がつかね状態に沈んでいきます。網の形状も魚を逃がさない仕組みになっています。それは4kgのもので、川の深さによっては、もっと重いものを使います。コツさえつかめば、老若男女問わずに楽しんでもらうことができます。

——初心者がはじめるにはどんな網を選べばいいのでしょうか。

吉田さん 投網の種類は、技術の高低よりも、獲る魚や河川などによって選んでいただきます。弊社では網選びや投げ方のアドバイスもして

います。実際に川でしている人を見たことから「自分もやってみよう」と思って、問い合わせられることが多いです。趣味が多様化する中で、せっかく投網に興味を持っていただいたのだから、網の売買だけでなくこうしたサービスで投網の裾野を広げていきたいと思っています。

#### ふるさと納税でも返礼品として投網を提供中

——ふるさと納税でも反響が多く、漁場の解禁日前には、役場にも問い合わせが多く寄せられています。

吉田さん 川西町商工会を通じて出展しており、おかげさまで多くのお問い合わせをいただいています。未経験の方も田舎への帰省の際の楽しみとして、投網を始めたらえれば嬉しいですね。特に川西町は木津川や吉野川からも近い場所にあります。帰省などで地元に戻ってこれた際に、投網を持って川遊びに行ってもらいやすい環境です。

——投網ができる環境への「ちかさ」も町の魅力ですね。